令和6年度　江戸川区立新堀小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	進んで考え　学び合う子 心ゆたかで　思いやりのある子 健康で　たくましい子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	たのしい学校　た・・体力づくり の・・能力づくり　し・・心情づくり　い・・生き方づくり あかるい児童　あ・・挨拶ができる子 か・・感じる子 考える子　る・・ルールを守る子　い・・挑む(挑戦する)子 げんきな教師　げん・・限界突破する教師　き・・気づける教師
前年度までの本校の現状	成果：・「たのしい」学校づくりとして、教育課程を、体力づくり、能力づくり、心情づくりに分類し、この３つは、生き方づくりに繋がっていくというイメージ図を提示することができ、地域の方や保護者の方など大半の方に評価をいただくことができた。	課題	・保護者の方からの声に、「もっと話を聞いてもらいたい」というご意見をいただいた。学校として、管理職・教員共に、「もっとこどもたちの話を聞くこと」「もっと保護者の方の話に耳を傾けること」が必要である。そのことが、学校経営方針である「ともにしあわせを感じる新堀の教育」を具現化するものと考える。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	授業改善の推進 学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得	新堀スタンダードの策定 朝学習を活用した読書、計算、漢字等の継続的な取組	新堀スタンダードの実施率100% 朝自習の実施（10分×週3×35週）											
	家庭学習習慣の定着	全学年全学級における家庭学習の提出 保護者と連携・共有した学習課題の提示	家庭学習の定着度80%以上											
	読書科の更なる充実	探究的な学習を通した、主体的に学ぶ資質・能力の育成	ホームページ等において「読書科」に関する取組を毎月公開											
体力の向上	運動意欲や基礎体力の向上	運動の日常化・外遊び奨励 継続的な運動チャレンジ旬間による運動時間の確保	年間を通した新堀タイムの実施（15分×週1×35週以上）											
	食育の充実	年間計画を含む全体計画に基づく、正しい知識と望ましい食習慣の定着	指導計画の実施率100%											
	基本的な生活習慣の確立	教師の共通行動に基づいた生活指導の徹底	新堀スタンダード（生活編）の実施率100%											
共生社会の実現に向けた教育の推進	特別支援教育の推進 個に応じた指導の実施・充実	個別の配慮や支援を必要とする児童の個別指導計画の作成 児童の居場所づくり	個別指導計画の作成率100%											
	共同学習の実施・充実	地域交流及び共同作業など、社会の教育力を生かした教育活動の実施	交流活動の実施率100%											
不登校・いじめ対応の充実	不登校児童に対する個々の社会的自立への支援	多様な居場所づくり（個別のニーズに応じた支援） スクールソーシャルワーカーとの連携	30日以上欠席児童の社会的自立に向けた支援を100%実施											
	新堀小学校いじめ防止対策基本方針に基づく指導の徹底	いじめの未然防止・早期発見・早期対応 いじめは絶対に許されないという認識の確実な定着	児童(保護者)からの相談対応100% いじめはダメと回答する児童100%											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	自校の取組の積極的な発信	ホームページを活用した、教育活動の公開 学校公開の積極的な実施	学校ホームページを毎週2回以上更新 学校公開を年間6回以上実施											
	学校関係者評価の充実	学校評価の効率化・適正化 学校ホームページによる学校関係者評価の公表	学校評議委員会を年間3回以上実施 関係者評価を年間2回実施											
特色ある教育の	本物の素晴らしさを実感する体験活動の充実	実物を見る・触る、人から聞く、実際にやってみるといった体験学習の実施 外部講師を活用した授業	各学年１回以上、外部講師を招いた授業の実施											

ある展開	特別活動の推進	たてわり班活動の充実 異学年の縦割り班活動を通した、計画する力や実行する力の育成	異学年の縦割り班活動を年間10回の実施											